

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

	指 標 名	基準値 ⇒ 目標値	平成27年度 実績数値	平成28年度 実績数値	平成29年度 実績数値	平成30年度 実績数値	令和元年度 実績数値	備 考	担当課
数値目標	合計特殊出生率	1.56(H24年) ⇒ 1.62(R2年)	—	—	1.44	1.41	1.46		市民課
数値目標	子育て世帯の転入超過数	△16世帯(H26年度) ⇒ 10世帯(R2年度)	△26世帯	5世帯	△32世帯	△14世帯	△19世帯		市民課

(1) 出会いから結婚までのサポート

	指 標 名	基準値 ⇒ 目標値	平成27年度 実績数値	平成28年度 実績数値	平成29年度 実績数値	平成30年度 実績数値	令和元年度 実績数値	備 考	担当課
重要業績評価指標【KPI】	結婚活動相談支援登録者数	—人(H27.3) ⇒ 33人(R3.3)	11人(H28.3)	18人(H29.3)	28人(H30.3)	32人(R1.3)	31人(R2.3)		市民協働課
重要業績評価指標【KPI】	出会い創出事業	—事業(H26年度) ⇒ 4事業(R2年度)	2事業	3事業	3事業	3事業	2事業		市民協働課
重要業績評価指標【KPI】	結婚活動相談支援事業を通じた成婚数	—組(H26年度) ⇒ 5組(H27～R2年度累計)	0組	1組(H27～H28年度累計)	3組(H27～H29年度累計)	3組(H27～H30年度累計)	4組(H27～R元年度累計)		市民協働課

取組事業

事業名	平成27年度の取組結果	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組結果	平成30年度の取組結果	令和元年度の取組結果	令和2年度の予定・計画	担当課	
主要事業 結婚活動支援事業	弥富市社会福祉協議会との連携により、結婚相談事業(毎月第2水曜日)及び婚活パーティーを開催した。 平成27年11月22日(日) あいち海部農協との連携により、農 婚パーティーを開催した。 平成27年12月12日(土)	弥富市社会福祉協議会との連携により、結婚相談事業(毎月第2水曜日)及び婚活パーティーを開催した。 ①平成29年6月5日(日) ②平成29年1月29日(日) あいち海部農協との連携により、農 婚パーティーを開催した。 平成28年12月17日(土)	弥富市社会福祉協議会との連携により、結婚相談事業(毎月第2水曜日)及び婚活パーティーを開催した。 ①平成29年 6月18日(日) ②平成29年11月23日(木・祝) あいち海部農協との連携により、農 婚パーティーを開催した。 平成29年12月16日(土)	弥富市社会福祉協議会との連携により、結婚相談事業(毎月第2水曜日)及び婚活パーティーを開催した。 ①平成30年 6月17日(日) ②平成30年12月 2日(日) あいち海部農協との連携により、農 婚パーティーを開催した。 平成30年12月22日(土)	弥富市社会福祉協議会との連携により、結婚相談事業(毎月第2水曜日)及び婚活パーティーを開催した。 ①平成30年 6月17日(日) ②平成30年12月 2日(日) あいち海部農協との連携により、農 婚パーティーを開催した。 令和元年12月21日(土)	弥富市社会福祉協議会との連携により、結婚相談事業(毎月第2水曜日)及び婚活パーティーを開催した。 ①令和元年11月23日(土・祝)	引き続き、弥富市社会福祉協議会との連携による結婚相談事業及び婚活パーティーを開催する。	市民協働課

(2) 妊娠、出産環境の整備

	指 標 名	基準値 ⇒ 目標値	平成27年度 実績数値	平成28年度 実績数値	平成29年度 実績数値	平成30年度 実績数値	令和元年度 実績数値	備 考	担当課
重要業績評価指標【KPI】	出生数	367人(H26年) ⇒ 390人(R2年)	346人	331人	339人	348人	328人		健康推進課
重要業績評価指標【KPI】	妊婦基本健診受診率	84.1%(H26年度) ⇒ 87.0%(R2年度)	80.8%	82.2%	75.2%	78.5%	76.6%		健康推進課

取組事業

事業名	平成27年度の取組結果	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組結果	平成30年度の取組結果	令和元年度の取組結果	令和2年度の予定・計画	担当課
主要事業 産前産後サポート事業	産前産後母子支援アンケートの準備をした。	産前産後母子支援アンケートを実施した。	未実施	未実施	未実施	未定	健康推進課
主要事業 産後ケア事業	産前産後母子支援アンケートの準備をした。	産前産後母子支援アンケートを実施した。	未実施	未実施	令和元年度より医療機関で宿泊型で開始。5件利用実績があり。	継続予定	健康推進課
主要事業 不妊治療費助成事業	不妊治療にかかる費用の一部を助成した。	不妊治療にかかる費用の一部を助成した。	不妊治療にかかる費用の一部を助成した。	不妊治療にかかる費用の一部を助成した。	人工授精に係る費用の一部を助成した。	人工授精に係る費用の一部助成に加えて体外受精・顕微授精の費用の一部を助成予定。	健康推進課

(3) 子育て支援の充実

	指 標 名	基準値 ⇒ 目標値	平成27年度 実績数値	平成28年度 実績数値	平成29年度 実績数値	平成30年度 実績数値	令和元年度 実績数値	備 考	担当課
重要業績評価指標【KPI】	支援が必要と認められる家庭への訪問件数(養育支援訪問)	0件(H26年度) ⇒ 30件(R2年度)	0件	0件	54件	10件	2件		児童課
重要業績評価指標【KPI】	保育所入所待機児童数	0人(H26年度) ⇒ 0人(R2年度)	0人	0人	0人	0人	0人		児童課
重要業績評価指標【KPI】	ファミリー・サポート・センター会員数	339人(H26年度) ⇒ 600人(R2年度)	393人	422人	527人	595人	632人		児童課

取組事業

事業名	平成27年度の取組結果	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組結果	平成30年度の取組結果	令和元年度の取組結果	令和2年度の予定・計画	担当課
重点戦略事業 児童館管理運営事業	「革でつくり！わくわくワークショップ」を実施。 革を知る、命をもらっていることの感謝の気持ちを伝える。	革でつくりワークショップを継続した。全児童館で革でつくりを実施した。保護者も参加できる体制へ、命をもらった感謝の気持ちと物の大切さを伝えた。また育成財団によるあそび王ランキングゲームへ参加した。	革でつくりワークショップ！を継続した。 様々な作品を、切る一貼る一縫うの工程で進め、作るから伝える。	子ども子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。 革でつくりワークショップ！を継続した。 様々な作品を、切る一貼る一縫うの工程で進め、作るから伝える。	子ども子育て支援事業計画を策定した。 アナログゲームの遊び方や楽しさを伝える行事を実施した。 異年齢交流として誰でも参加できる遊びを実施した。	季節に合った行事等を実施し、遊びを通して子どもたちの健康増進を図り、子どもの居場所づくりに努める。	児童課
重点戦略事業 母子保健事業	妊婦・出産期から就学までの間の健康診査及び相談、予防接種、育児に関する教室及び支援を行い、母性、乳児及び幼児の健康の保持・増進に努めた。	母子保健事業を実施した。	母子保健事業を実施した。	母子保健事業を実施した。	母子保健事業を実施した。	母子保健事業を継続する。	健康推進課
重点戦略事業 外国人児童向けプレスクール事業 《交付金事業》	平成27年4月からプレスクール事業の講師を募集し、5月から講師養成講座を開催し、講師7名を要請した。また、次年度小学校に入学予定の外国人児童を対象に、保育所においてプレスクールを実施した。	3保育所7名、4か国の園児を対象に実施し、ひらがな、数字、文化の習得に努めた。	4保育所、10名、4か国の園児を対象に実施し、ひらがな、数字、文化の習得に努めた。	3保育所、7名、4か国の園児を対象に実施し、ひらがな、数字、文化の習得に努めた。	3保育所、6名、3か国の園児を対象に実施し、ひらがな、数字、文化の習得に努めた。	ひらがな、数字、文化の習得に努める。	児童課
重点戦略事業 災害時避難情報システム整備事業【再掲】 《交付金事業》	市内保育所に通う子ども達の避難場所を携帯端末を利用していち早く保護者に知らせるシステム(アプリ)を導入した。 市内9保育所において、月2回の避難訓練において活用した。	市内9保育所において、月2回の避難訓練において活用した。また、保護者にシステム登録するよう呼びかけた。	市内9保育所において、月2回の避難訓練において活用した。また、保護者にシステム登録するよう呼びかけた。	市内9保育所において、月2回の避難訓練において活用する。また、保護者にシステム登録するよう呼びかけた。	市内9保育所において、月2回の避難訓練において活用した。また、保護者にシステム登録するよう呼びかけた。	市内9保育所において、月2回の避難訓練において活用する。また、保護者にシステム登録するよう呼びかけた。	児童課
重点戦略事業 子どもの体力アップ推進事業 《交付金事業》	体力アップのための遊具を購入し、活用した。 年長を対象し、月2回講師を招き、運動遊び指導を実施した。	対象児童を年長児のみならず年中児まで拡大し、月2回講師を招いて体力向上に努めた。	年長及び年中児を対象とし、月2回講師を招いて体力向上に努めた。	年長及び年中児を対象とし、月2回講師を招いて体力向上に努めた。	年長及び年中児を対象とし、月2回講師を招いて体力向上に努めた。	年長及び年中児を対象とし、月2回講師を招いて体力向上に努める。	児童課
重点戦略事業 子育て支援情報ポータルサイト導入事業【再掲】 《交付金事業》	多様な情報の中から必要な子育て支援情報を簡単に入手できるポータルサイトを導入した。(H28.3.31開設) 子育て支援センター(3カ所)にパソコンを設置し、施設利用者が自由に閲覧できるようにした。	多様な情報の中から必要な子育て支援情報を簡単に入手できるよう随時更新を行った。また、子育て支援センター(3カ所)に設置したPCを含め適切な保守を行った。	多様な情報の中から必要な子育て支援情報を簡単に入手できるよう随時更新を行った。また、子育て支援センター(3カ所)に設置したPCを含め適切な保守を行った。	多様な情報の中から必要な子育て支援情報を簡単に入手できるよう随時更新を行う。また、子育て支援センター(3カ所)に設置したPCを含め適切な保守を行った。	多様な情報の中から必要な子育て支援情報を簡単に入手できるよう随時更新を行った。	多様な情報の中から必要な子育て支援情報を簡単に入手できるよう随時更新を行っていく。	児童課
主要事業 新白鳥保育所建設事業	外構工事を行った。	-	-	-	-	-	児童課
主要事業 児童クラブ管理運営事業	桜第二児童クラブを開設し、10クラブを11クラブと増設した。 利用対象児童を小3から小6へ引き上げた。	放課後、自宅に保護者がいない小学生に遊びを主とする健全育成事業を行った。また、高学年に対応できるよう支援員の資質向上に努めた。(H29.3.31現在、11クラブ、274人)	利用時間を周知徹底するよう呼び掛けるとともに、迎えに間に合わない場合にはファミリー・サポート・センター事業と連携し、児童を預かる体制づくりに努めた。	子ども子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。 利用時間を周知徹底するよう呼び掛けるとともに、迎えに間に合わない場合にはファミリー・サポート・センター事業と連携し、児童を預かる体制づくりに努めた。	子ども子育て支援事業計画を策定した。 待機児童をなくすため、平成31年4月1日から市内全体で80名定員を増やした。	待機児童が出ないよう、令和2年4月1日から市内全体で30名の定員増の見直しをする。	児童課
主要事業 ファミリー・サポート・センター事業	委託から市直営に向けて準備。 併せてファミリー・サポート・センター事業を活用した病児・病後児保育事業の開設準備をした。	児童の預かり等の相互援助活動について、利用会員と協力会員との連携調整等を実施した。また、事業運営を委託から市直営に切り替え、事業の充実を図るとともに、基本事業を活用した病児・病後児保育事業を実施した。	会員登録出張所(毎月)の開設及び入会説明会(3月)を開催。 健康フェスタで子どもの笑顔写真展と交流会場を設置した。	子ども子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。 会員登録出張所(毎月)の開設及び入会説明会(3月)を開催。 健康フェスタで子どもの笑顔写真展と交流会場を設置した。	子ども子育て支援事業計画を策定した。 会員登録出張所を毎月開催した。 健康フェスタで子どもの笑顔写真展と交流会場を設置した。	会員登録出張所(毎月)の開設及び入会説明会(3月)を開催する。	児童課
主要事業 病時・病後児預かり施設建設事業	平成28年度開設に向けて建設および整備を行った。	-	-	-	-	-	児童課
主要事業 一時保育事業	公立の保育内に部屋を設け専任保育士2名定員5名午前8時30分から午後4時まで実施した。	白鳥保育所に専用の部屋を設けて保育士2名を配置し、午前8時30分から午後4時までを1時間延長して午後5時まで実施した。(1日定員5人、利用実績547人)	保育時間を午前8時30分から午後5時までとして、利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努めた。	子ども子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。 利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努めた。	子ども子育て支援事業計画を策定した。 利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努めた。	満6ヶ月以上の乳児から対象とし、保育時間を午前8時から午後5時までとして、利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努める。	児童課

まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI達成状況及び各事業取組状況

事業名	平成27年度の取組結果	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組結果	平成30年度の取組結果	令和元年度の取組結果	令和2年度の予定・計画	担当課	
主要事業	核第二児童クラブ施設整備事業	平成28年度開設に向けて整備した。	—	—	—	—	児童課	
主要事業	子育て支援センター運営事業	訪問子育て相談の周知をした。0件→8件へ養育支援事業に向けて整備をした。	子育て中の親子の交流、育児相談等を実施した。保健センターと情報交換を行いながら、訪問相談及び電話相談を行った。	日常的な子育て相談に加え、臨床心理士による相談や各種育児講座等を開催し、育児支援を充実させる。また、引き続き訪問相談を実施した。	子ども子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。日常的な子育て相談に加え、臨床心理士による相談や各種育児講座等を開催し、育児支援を充実させる。また、引き続き訪問相談を実施した。	子ども子育て支援事業計画を策定した。日常的な子育て相談に加え、臨床心理士による相談や各種育児講座等を開催し、育児支援の充実を図った。	子どもが健やかに成長できるよう、保護者に対する支援の充実及び支援員の資質向上を図る。	児童課
主要事業	子ども医療費支給事業	子ども医療費助成は県の補助制度をベースに上乗せする形で助成している。入院・通院とも中学3年生まで実施した。	子ども医療費助成は県の補助制度をベースに上乗せする形で入院・通院とも中学3年生まで実施した。	子ども医療費助成は県の補助制度をベースに上乗せする形で入院・通院とも中学3年生まで実施した。	子ども医療費助成は県の補助制度をベースに上乗せする形で入院・通院とも中学3年生まで実施した。	県の補助事業制度をベースに上乗せする形で入院・通院とも中学3年生まで実施した。	令和元年度と同様に実施	保険年金課
主要事業	ひとり親家庭等の支援	父母が離婚、重度障害等の状況にある児童を監護・養育している者に市遣児手当を支給した。ひとり親世帯の経済的自立を支援(就労・給付・貸付等)するための相談業務を行った。	父母が離婚、重度障害等の状況にある児童を監護・養育している者に市遣児手当を支給した。ひとり親世帯の経済的自立を支援(就労・給付・貸付等)するための相談業務を行った。	父母が離婚、重度障害等の状況にある児童を監護・養育している者に市遣児手当を支給した。ひとり親世帯の経済的自立を支援(就労・給付・貸付等)するための相談業務を行った。	父母が離婚、重度障害等の状況にある児童を監護・養育している者に市遣児手当を支給した。ひとり親世帯の経済的自立を支援(就労・給付・貸付等)するための相談業務を行った。	父母が離婚、重度障害等の状況にある児童を監護・養育している者に市遣児手当を支給する。ひとり親世帯の経済的自立を支援(就労・給付・貸付等)するための相談業務を行う。	児童課	
主要事業	障がい児保育の支援	発達障がい児などが親子で通園する施設(のびのび園)を管理、運営した。	発達障害児などが親子で通園する施設「のびのび園」を運営した。(定員24名、+29.331利用者の増)子育てに悩む保護者が、子どもの行動を理解し自信を付けることを目的としたペアレント・プログラムを開催(委託)した。	母子通園施設「のびのび園」を管理、運営した。ペアレント・プログラムを開催(委託)した。	子ども子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。母子通園施設「のびのび園」を管理、運営した。ペアレント・プログラムを開催(委託)した。	幼児教育・保育無償化にあわせて無償化。子ども子育て支援事業計画を策定した。母子通園施設「のびのび園」を管理、運営する。親からの療育相談等の支援の充実を図る。	児童課	

(4) 学校教育・生涯学習の充実

指標名	基準値 → 目標値	平成27年度実績数値	平成28年度実績数値	平成29年度実績数値	平成30年度実績数値	令和元年度実績数値	備考	担当課
重要業績評価指標【KPI】	将来の夢や目標を持てる児童の割合 小6	87.9%(H26年度) ⇒ 前年度より高、国・県より高	87.3%	84.3%	87.9%	85.6%	82.6%	学校教育課
重要業績評価指標【KPI】	将来の夢や目標を持てる生徒の割合 中3	73.3%(H26年度) ⇒ 前年度より高、国・県より高	74.1%	67.3%	71.4%	75.1%	65.6%	学校教育課

取組事業

事業名	平成27年度の取組結果	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組結果	平成30年度の取組結果	令和元年度の取組結果	令和2年度の予定・計画	担当課
重点戦略事業	英語指導者委託事業	小中学校へ英語指導者を5人派遣し、教員とともに外国語活動・授業の充実を図った。	小中学校へ英語指導者を5人派遣し、教員とともに外国語活動・授業の充実を図った。	小中学校へ英語指導者を5人派遣し、教員とともに外国語活動・授業の充実を図った。	小中学校へ英語指導者を5人派遣し、教員とともに外国語活動・授業の充実を図った。	小中学校へ英語指導者を5人派遣し、教員とともに外国語活動・授業の充実を図った。	前年度と同様に実施。学校教育課
重点戦略事業	特別支援教育支援員事業	特別支援を要する児童生徒に対し、学校における日常生活上の介助や、学習支援、学習活動上のサポートのため、23人配置した。	特別支援を要する児童生徒に対し、学校における日常生活上の介助や、学習支援、学習活動上のサポートのため、29人配置した。	特別支援を要する児童生徒に対し、学校における日常生活上の介助や、学習支援、学習活動上のサポートのため、29人配置した。	特別支援を要する児童生徒が年々増加しているため、前年と同じように支援を行い、平成30年度は33人配置した。	特別支援を要する児童生徒に対し、学校における日常生活上の介助や、学習支援、学習活動上のサポートのため、34人配置した。	特別支援を要する児童生徒が年々増加しているため、前年と同じように支援を行い、令和元年度は34人配置している。学校教育課
重点戦略事業	平和教育推進事業	11月中旬に1泊2日の行程で中学2年生全員を広島平和記念資料館等へ派遣し、平和の尊さ、命の大切さなどの実践的な態度を身につけさせる事業を実施した。	11月上旬に1泊2日の行程で中学2年生全員を広島平和記念資料館等へ派遣し、平和の尊さ、命の大切さなどの実践的な態度を身につけさせる事業を実施した。	11月上旬に1泊2日の行程で中学2年生全員を広島平和記念資料館等へ派遣し、平和の尊さ、命の大切さなどの実践的な態度を身につけさせる事業を実施した。	11月上旬に1泊2日の行程で中学2年生全員を広島平和記念資料館等へ派遣し、平和の尊さ、命の大切さなどの実践的な態度を身につけさせる事業を実施した。	11月上旬に1泊2日の行程で中学2年生全員を広島平和記念資料館等へ派遣し、平和の尊さ、命の大切さなどの実践的な態度を身につけさせる事業を実施した。	前年度と同様に実施。学校教育課
主要事業	特別非常勤講師派遣事業	各小中学校へ1名から2名程度配置することによって、教職員等の補充をし、きめ細やかな授業を実施した。	各小中学校へ1名から2名程度配置することによって、教職員等の補充をし、きめ細やかな授業を実施した。	各小中学校へ1名から2名程度配置することによって、教職員等の補充をし、きめ細やかな授業を実施した。	各小中学校へ1名から2名程度配置することによって、教職員等の補充をし、きめ細やかな授業を実施した。	各小中学校へ1名から2名程度配置することによって、教職員等の補充をし、きめ細やかな授業を実施した。	前年度と同様に実施。学校教育課

まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI達成状況及び各事業取組状況

事業名	平成27年度の取組結果	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組結果	平成30年度の取組結果	令和元年度の取組結果	令和2年度の予定・計画	担当課
主要事業 適応指導支援室整備事業	臨床心理カウンセラーを配置し、集団生活への適応能力の向上を図り、学校復帰に向けた支援をするために、学校生活適応指導支援事業を実施した。	臨床心理カウンセラーを配置し、集団生活への適応能力の向上を図り、学校復帰に向けた支援をするために、学校生活適応指導支援事業を実施した。	臨床心理カウンセラーを配置し、集団生活への適応能力の向上を図り、学校復帰に向けた支援をするために、学校生活適応指導支援事業を実施した。	臨床心理カウンセラーを配置し、集団生活への適応能力の向上を図り、学校復帰に向けた支援をするために、学校生活適応指導支援事業を実施した。	臨床心理カウンセラーを配置し、集団生活への適応能力の向上を図り、学校復帰に向けた支援をするために、学校生活適応指導支援事業を実施した。	前年度と同様に実施。	学校教育課
主要事業 給食業務委託事業	調理業務を民間委託することによって、経費の削減を図り、食の安全・食育等を考慮し実施した。	調理業務を民間委託することによって、経費の削減を図り、食の安全・食育等を考慮し実施した。	調理業務を民間委託することによって、経費の削減を図り、食の安全・食育等を考慮し実施した。	調理業務を民間委託することによって、経費の削減を図り、食の安全・食育等を考慮し実施した。	調理業務を民間委託することによって、経費の削減を図り、食の安全・食育等を考慮し実施した。	前年度と同様に実施。	学校教育課
主要事業 教室等環境改善事業	弥富北中学校において、グラウンドの全面改修整備を実施した。また、トイレ便器34基を洋式化した。	弥富中学校においてテニスコート、野球のグラウンド等の改修整備を実施した。また、トイレ便器36基を洋式化した。	弥富中学校においてテニスコート、野球のグラウンド等の改修整備を実施した。また、トイレ便器36基を洋式化した。	小学校2校非常用防火シャッター取替工事の実施及び危険ブロック塀の撤去をした。 中学校3校普通教室に空調機器設置。	小学校の普通教室に空調機器設置した。	トイレの洋式化工事等を実施。	学校教育課
主要事業 情報機器整備事業	デジタル教科書や学習ソフトの活用により、子どもの授業への関心意欲を向上させ、情報社会への対応力の育成を図った。	デジタル教科書や学習ソフトの活用により、子どもの授業への関心意欲を向上させ、情報社会への対応力の育成を図った。	デジタル教科書や学習ソフトの活用により、子どもの授業への関心意欲を向上させ、情報社会への対応力の育成を図った。	H30.3～小中学校に40台ずつタブレットを導入し、各校2教室(PC教室と他1教室)にWi-Fi環境を整備した。また電子黒板又は電子黒板機能付きプロジェクターを配備したことにより、デジタル教科書や学習ソフト活用したICT学習を実施した。	デジタル教科書や学習ソフトの活用により、子どもの授業への関心意欲を向上させ、情報社会への対応力の育成を図った。	国のGIGAスクール構想に基づき、全小中学校の情報通信ネットワーク整備を実施。	学校教育課
主要事業 スポーツ大会、教室等委託事業	市民スポーツ大会：27大会 市民スポーツ教室：17教室を行った。	市民スポーツ大会：27大会 市民スポーツ教室：17教室	市民スポーツ大会：27 市民スポーツ教室：17	市スポーツ大会：25 市スポーツ教室：17	市スポーツ大会：27 市スポーツ教室：13	令和元年度と同様に開催する。	生涯学習課
主要事業 図書館蔵書充実事業	一般書1,953冊、児童書1,221冊を購入し、より広い分野の資料を蔵書することができた。	一般書1,639冊、児童書1,351冊を購入し、より広い分野の資料を蔵書することができた。	一般書1,652冊、児童書1,532冊 計3,184冊を新規登録	一般書1,869冊、児童書1,676冊 計3,545冊を新規登録	一般書1,572冊、児童書1,205冊 計2,777冊を新規登録	一般書1,600冊、児童書1,000冊の購入を予定	図書館
主要事業 生涯学習プログラムの充実	親子教室・子供向け講座：17講座 生涯学習講座：13講座	親子教室・子供向け講座：25講座 生涯学習講座：12講座	親子教室・子ども向け講座：11講座 生涯学習講座：10講座	親子教室・子ども向け講座：11講座 生涯学習講座：11講座	親子教室・子ども向け講座：10講座 生涯学習講座：14講座	令和元年度と同様に開催する。	生涯学習課
主要事業 経済的困窮者への就学援助	要保護及び準要保護児童生徒に対し、学用品費等の援助を実施し、保護者の負担軽減を図り、教育の向上に努めた。平成27年度は307件認定した。	要保護及び準要保護児童生徒に対し、学用品費等の援助を実施し、保護者の負担軽減を図り、教育の向上に努めた。平成28年度は300件認定した。	要保護及び準要保護児童生徒に対し、学用品費等の援助を実施し、保護者の負担軽減を図り、教育の向上に努めた。平成29年度は310件認定した。	平成29年度の内容に加え、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を実施し、356件認定した。	要保護及び準要保護児童生徒に対し、学用品費等の援助を実施し、保護者の負担軽減を図り、教育の向上に努めた。平成29年度は309件認定した。	一部の支給費目の単価を増額して実施。	学校教育課

(5) 仕事と生活の調和の実現

	指 標 名	基準値 ⇒ 目標値	平成27年度 実績数値	平成28年度 実績数値	平成29年度 実績数値	平成30年度 実績数値	令和元年度 実績数値	備 考	担当課
重要業績評価指標【KPI】	ファミリーフレンドリー企業登録数	8件(H26年度) ⇒ 12件(R2年度)	8件	9件	9件	9件	8件		商工観光課
重要業績評価指標【KPI】	ファミリー・サポート・センター会員数【再掲】	339人(H26年度) ⇒ 360人(R2年度)	393人	422人	527人	595人	632人		児童課

取組事業

	事業名	平成27年度の取組結果	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組結果	平成30年度の取組結果	令和元年度の取組結果	令和2年度の予定・計画	担当課
重点戦略事業	児童クラブ管理運営事業【再掲】	桜第二児童クラブを開設し、10クラブを11クラブと増設した。利用対象児童を小3から小6へ引き上げた。	放課後、自宅に保護者がいない小学生に遊びを主とする健全育成事業を行った。また、高学年に対応できるよう支援員の資質向上に努めた。(H29.3.31現在、11クラブ、274人)	利用時間を周知徹底するよう呼び掛けるとともに、迎えに間に合わない場合にはファミリー・サポート・センター事業と連携し、児童を預かる体制づくりに努めた。	子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。利用時間を周知徹底するよう呼び掛けるとともに、迎えに間に合わない場合にはファミリー・サポート・センター事業と連携し、児童を預かる体制づくりに努めた。	子ども・子育て支援事業計画を策定した。待機児童をなくすため、平成31年4月1日から市内全体で80名定員を増やした。	待機児童が出ないよう、令和2年4月1日から市内全体で30名の定員増の見直しをする。	児童課
重点戦略事業	ファミリー・サポート・センター事業【再掲】	委託から市直営に向けて準備。併せてファミリー・サポート・センター事業を活用した病児・病後児保育事業の開設準備をした。	児童の預かり等の相互援助活動について、利用会員と協力会員の連絡調整等を実施した。また、事業運営を委託から市直営に切り替え、事業の充実を図るとともに、基本事業を活用した病児・病後児保育事業を実施した。	会員登録出張所(毎月)の開設及び入会説明会(3月)を開催。健康フェスタで子どもの笑顔写真展と交流会場を設置した。	子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。会員登録出張所(毎月)の開設及び入会説明会(3月)を開催。健康フェスタで子どもの笑顔写真展と交流会場を設置した。	子ども・子育て支援事業計画を策定した。会員登録出張所を毎月開催した。健康フェスタで子どもの笑顔写真展と交流会場を設置した。	会員登録出張所(毎月)の開設及び入会説明会(3月)を開催する。	児童課
主要事業	病時・病後児預かり施設建設事業【再掲】	平成28年度開設に向けて建設および整備を行った。	-	-	-	-	-	児童課
主要事業	一時保育事業【再掲】	公立の保育内に部屋を設け専任保育士2名定員5名午前8時30分から午後4時まで実施した。	白鳥保育所に専用の部屋を設けて保育士2名を配置し、午前8時30分から午後4時までを1時間延ばして午後5時まで実施した。(1日定員5人、利用実績547人)	保育時間を午前8時30分から午後5時までとして、利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努めた。	子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査を実施した。利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努めた。	子ども・子育て支援事業計画を策定した。利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努めた。	満6ヶ月以上の乳児から対象とし、保育時間を午前8時から午後5時までとして、利用者の利便性の向上を図るとともに事業の周知に努める。	児童課
主要事業	男女共同参画の推進	①あいち国際女性映画祭の開催 平成27年9月5日(土) ②市内小中学生による男女共同参画啓発ポスターコンクールの開催 平成27年10月1日～10月15日 ③男女共同参画サテライトセミナーの開催 平成28年2月27日(土)	①あいち国際女性映画祭の開催 平成28年9月10日(土) ②市内小中学生による男女共同参画啓発ポスターコンクールの開催 平成28年10月1日～10月16日 ③男女共同参画サテライトセミナーの開催 平成29年2月18日(土)	①あいち国際女性映画祭の開催 平成29年9月9日(土) ②市内小中学生による男女共同参画啓発ポスターコンクールの開催 平成29年10月3日～10月16日 ③男女共同参画サテライトセミナーの開催 平成30年2月17日(土)	①あいち国際女性映画祭の開催 平成30年9月8日(土) ②市内小中学生による男女共同参画啓発ポスターコンクールの開催 平成30年10月1日～10月15日	①あいち国際女性映画祭の開催 令和元年9月7日(土) ②市内小中学生による男女共同参画啓発ポスターコンクールの開催 令和元年10月1日～10月15日	引き続き、あいち国際女性映画祭(9月5日(土)予定)、男女共同参画啓発ポスターコンクール(10月1日～15日(予定))を開催する。 また、弥富市男女共同参画推進条例及び弥富市男女共同参画プランに基づき、各課と連携をして男女共同参画社会の実現に向けて各種事業の実施及び啓発活動を行う。	市民協働課
主要事業	ワーク・ライフ・バランスの啓発	関係機関作成のワーク・ライフ・バランス啓発チラシを窓口等に配置し、啓発に努めた。	関係機関作成のワーク・ライフ・バランス啓発チラシを窓口等に配置し、啓発に努めた。	関係機関作成のワーク・ライフ・バランス啓発チラシを窓口等に配置し、啓発に努めた。	関係機関作成のワーク・ライフ・バランス啓発チラシを窓口等に配置し、啓発に努めた。	関係機関作成のワーク・ライフ・バランス啓発チラシを窓口等に配置し、啓発に努めた。	市広報やホームページにおいて、ワーク・ライフ・バランス啓発記事を積極的に掲載する。	市民協働課 商工観光課